

NAGATO

第2次長門市総合計画【後期基本計画】

概要版

【計画期間】

2022



2026



ひとが輝き、

やさしさが

こだまするまち長門



将来像

長門市では、平成29(2017)年3月に「第2次長門市総合計画」を策定し、長門ならではの誇るべき地域の宝を活かしながら、成長していくまちづくりを計画的・総合的に展開してきました。

この計画は、長門市の将来像を目指したまちづくりを着実に進めるため、さまざまな主体が協働しながら、幅広い視点を持った取組を進めるための指針となるものです。

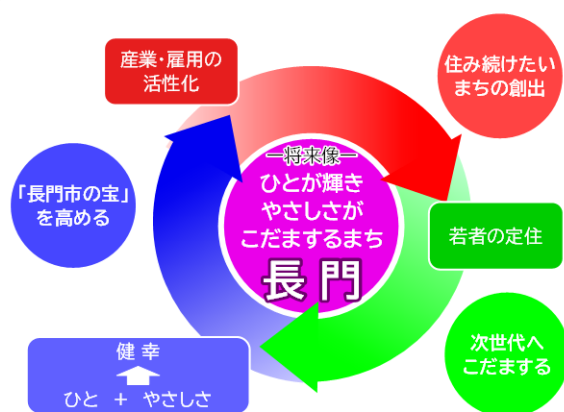
計画の基本理念

- 「若者の定着」を目指し、「住みたい」、「住み続けたい」まちを育てます。
- 「産業・雇用の活性化」により、誰もが元気に働いていけるまちをつくります。
- 「ひと」のつながりにより、魅力あふれるまちづくりを進めます。
- 「やさしさ」を感じあい、お互いを大切にできるまちをつなげていきます。
- 幸せを感じることできる「健幸」なまちを目指します。



将来像

～ひとが輝き、やさしさがこだまするまち長門～



後期基本計画の視点

① 新たな産業振興構想「ながと6G構想」

社会情勢の変化に対応する、将来を見据えた魅力ある地域産業の創出

② デジタル化社会に対応したICTの活用

ICT、IoTをすべての市民が活用できる環境づくり

③ 持続可能な開発目標(SDGs)の視点

「長門市SDGs推進指針」にもとづく、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現

重点施策

「やさしさ」が「こだま」し、「サイクル」していく『やさしさいくる』により、「ひとが輝き、やさしさがこだまするまち長門」に向けたまちづくりを推進していきます。



さんぎょう・こよう

就業者の所得向上を図ることで地場産業の魅力向上や後継者等の確保につなげます。また、魅力的な地域の資産を活用した教育環境づくりにより、人材の育成を行います。

ICT化の加速や、新たな日常「ニューノーマル」への対応を進めるべく、本市の新たな産業振興構想「ながと6G（シックスジー）構想」に基づいた「ながと版産業革命」を進めていきます。

ひとづくり

地域資源や地場産業を活かした教育を推進し、地域に愛着を持った人材を育てることにより、郷土教育の醸成と地域の生活環境やコミュニティ力を向上させていきます。

また、市民のシビック・プライドの醸成を図り、郷土に愛着と誇りを持ち、ふるさとに住み続けたい、ふるさとで働きたいと考える市民の増加を目指します。

いじゅう・ていじゅう

移住者の受け入れに向けた情報発信や支援を行う「移住」と、地域で活躍する人材を中心に、生活環境の向上を目指す「定住」を推進し、本市で働いていく「ひと」の増加を図ります。

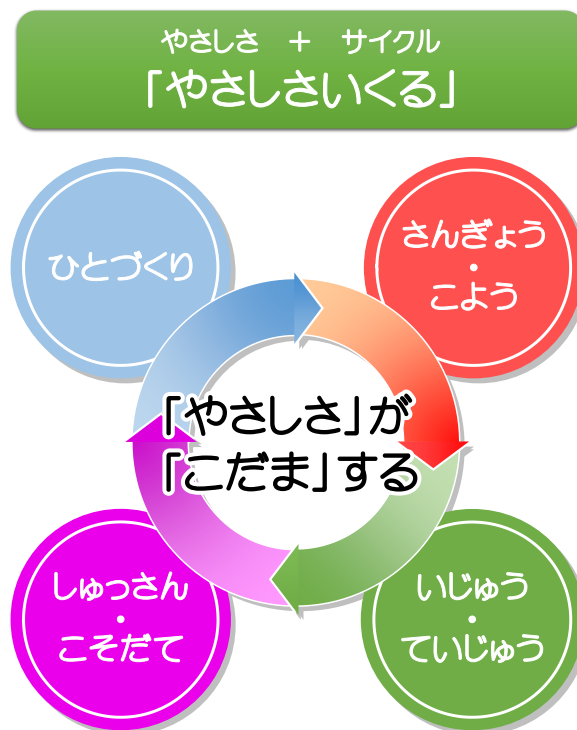
しゅっさん・こそだて

少子化に歯止めをかけ、地域の未来を担う子どもたちが健やかに生まれ、成長できるよう、親子の健康維持、子育て支援、教育環境の充実に努めます。

また、出会いの場の創出、出産・子育てへの相談支援対策の充実、雇用の確保、産前・産後ケアの充実を図ります。

さらに、ワーク・ライフ・バランスの周知徹底を図り、誰もが子育てしながら働ける長門市の実現を目指します。

重点施策の概念図



後期計画の基本目標

基本目標Ⅰ 生涯「健幸」で元気に暮らせるまち



長門市では、誰もが生涯元気に暮らせることを「健幸」と定義し、施策を進めています。健康づくりの取組を中心に、地域で安心して子育てができるような支援や、ワーク・ライフ・バランスの推進、高齢者や障害者福祉の充実など重層的支援体制整備事業に取り組み、生涯、心身ともに「健幸」に暮らしていくための必要な取組などを計画的に実施します。

- 1 健康づくりの推進
- 2 高齢者福祉の充実
- 3 障害者福祉の充実
- 4 児童福祉の充実
- 5 地域福祉の充実



保育サービスの充実



障害者の就労体験



やまぐち健幸アプリの登録促進

基本目標Ⅱ 安全で安心して住めるまち



近年、日本各地で豪雨災害が相次いでおり、本市においても防災の機運は高まりを見せています。さまざまな防災情報伝達手段を確保するとともに、災害時に支援が必要な人の把握、対応を進めています。

地域の人口減少や高齢化などによる、高齢者を狙う犯罪、高齢者による交通事故の発生など、さまざまな側面から、安全・安心への対応を推進します。

- 1 防災体制の強化
- 2 交通安全・防犯対策の強化



30m級先端屈折式はしご付消防自動車



全国交通安全週間

NAGATO

基本目標Ⅲ 自然と共生し、快適なまち



長門市は、北長門海岸国定公園や油谷地区の指定棚田など、豊富で多様性のある自然環境を有しています。また温泉街などでは独特の市街景観をつくっています。それらの自然や景観を守り、地球温暖化防止などの取組を市民とともに推進します。

また、上下水道や公園、スポーツ施設などの公共施設を始め、道路や通信のネットワークなど、計画的な更新・整備を推進します。

- 1 循環型社会の形成
- 2 景観の形成・景観づくりの推進
- 3 住環境の整備
- 4 都市機能の充実
- 5 地域公共交通の再構築



ながとスポーツ公園



山陰道 長門・俵山道路 開通



資源・ごみ分別アプリの配信

基本目標Ⅳ 地場産業が活躍する、活力あるまち



長門市では、「ながと6G構想」に基づき、最新技術と経済振興の融合に取り組んでいます。また、農林水産業の6次産業化や温泉、インバウンドを中心とした観光産業の振興にも取り組んでいます。近年は道の駅「センザキッチン」のオープン、長門湯本温泉のリニューアルなど、新たな変革の中で、更なる産業振興のアイデアの実現を目指します。

- 1 産業・雇用の振興
- 2 経済効果を実感できる観光振興



道の駅「センザキッチン」



俵山温泉



仙崎市場初セリ

後期計画の基本目標

基本目標Ⅴ 歴史・文化を継承し、輝く人を育むまち



長門市では、「長門みずぎ学園構想」を展開し、小中一貫した9年間の教育を推進し、市民参画による教育支援ネットワーク「地域協育ネット」により、コミュニティ・スクールを展開しています。

また、4つの「総合型地域スポーツクラブ」により、地域に根ざしたさまざまなスポーツに取り組んでいます。

文化振興においては、少子高齢化により、文化の保存継承が課題となる中、地域文化の保存・活用に、計画的に取り組めます。

- 1 子どもたちの安全・安心の確保と質の高い教育環境の整備
- 2 知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」の育成
- 3 生涯学習の理念に基づく取組の推進



俵山こども歌舞伎



1人1台端末を使った授業



サイエンスフェスティバル

基本目標Ⅵ 支えあい、地域を担う協働のまち



長門市では、市民参画による地域の特色を活かしたまちづくりに取り組んでいます。地域コミュニティや地域団体との協働により、移住・定住施策、地域振興を推進します。

また、昨今の新型コロナウイルスの世界的な流行により、地域コミュニティも大きく変化しています。時代のニーズに対応した新しいコミュニティの形成を目指します。

SDGsなどのグローバルな視点での社会づくりが進む中、人権啓発や男女共同参画などの取組を進めます。

- 1 地域で担うまちづくりの推進
- 2 まちづくり参加の促進



集落支援員の研修会



SNSによる
長門市の魅力発信



専門員による移住相談

基本目標Ⅶ 効率的で効果的な行財政運営



人口減少が続く中、本市の生産年齢人口も減少するとみられており、将来にわたって持続可能な公共サービスを提供することが第一の目的です。

あらゆる分野において行財政運営の効率化・安定化に努め、一層の「選択と集中」により、財源の確保に努めます。

また、世界的なデジタル化への対応を図り、スマート自治体の早期実現を目指します。

- 1 連携による行政サービスの強化
- 2 健全な行財政運営の推進



行政改革の推進



国際交流の推進

市民とともにあゆむ長門市に向けて

◆シビック・プライドによるまちづくり

シビックプライドとは、郷土を愛し、地域のことを考えることで、地域での暮らしや地域経済をもっと良くしていこうというものです。



近年では若者を中心に、インターネット等を通じて世界のさまざまな情報を得られることで、地域への参画が減少し、都会の生活への憧れも、より見られるようになっています。

長門市で暮らす市民みんなが、地域活動に企画段階から参画し、SNS等への長門市の露出を増やし、魅力のある地域をつくっていくことで、地域への帰属意識を高め、シビック・プライドを持った人を増やしていくことができます。

◆まちづくりへの市民参画の推進

この計画の策定にあたっては、市民ワークショップを実施し、地域の未来についてのさまざまなご意見をいただきました。今後とも地域での意見を聴く機会や説明会などを開催するとともに、各種の計画の策定の際には、市民や関係者からのご意見をいただく場を設けていきます。

市民・関係者の皆様のまちづくりへの積極的な参画により、長門市らしい、長門市に必要な取組が増えていきます。



◆SDGsを踏まえた持続可能なまちづくり

国連の推進するSDGs(持続可能な開発のための2030アジェンダ)では、地球環境の問題だけではなく、身近なさまざまな克服すべき課題があり、人類が誰一人取り残されることのない取組を進めることが謳われています。



長門市においても「長門市SDGs推進指針」を定め、職員が常にSDGsを意識した取組を進めています。市民や事業者なども、SDGsを理解し、協働で持続可能な未来を協働でつくり上げていくことが求められています。



第2次長門市総合計画 後期基本計画 概要版

「やさしさ」が「こだま」し、「サイクル」していく 『やさしさいくる』のまち

長門市出身の童謡詩人、金子みすゞの詩にある「やさしさ」の精神を持って、
市民とともにあゆみ、市民の暮らしと産業を子供たちの未来へと
「こだま」させていくことで、豊かな長門市を創造します。



ひとが輝き、
やさしさが
こだまするまち
長門

●編集/発行 長門市企画政策課

〒759-4192 山口県長門市東深川 1339 番地 2

TEL: 0837-23-1229 FAX: 0837-22-0135

長門市の情報や暮らしの手続きなどは
長門市ホームページをチェックしてください
<https://www.city.nagato.yamaguchi.jp/>

